

ビジネスモデルの基本とIoTとSDGsへの対応

～ IoTを活用したビジネスモデルとSDGsに貢献するビジネスモデルの構築法を学ぶ ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 7月16日(火) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

《ご参加頂きたい方》

IoTやSDGsに対応したビジネスモデルの革新を検討している企業の経営企画、事業企画など関連部門のご担当者

講師 キュー・エム・コンサルティング 取締役社長 公認会計士 松原恭司郎 氏

国際会計事務所系コンサルティング会社などを経て1992年に独立。バランス・スコアカード、ビジネスモデル関連のコンサルティング業務に従事。SBI大学院大学客員教授、東北福祉大学非常勤講師を兼務。元 中央大学大学院特任教授。最新刊の『<新版>【松原流】戦略マップ/BSCとOKRの連携教本』(2018)を始め、『ビジネスモデル・マッピング教本』(2013)、『ROE重視のKPIマネジメント教本』(2016) 日刊工業新聞社、『図解「統合報告」の読み方・作り方』(2014) 中央経済社、などの著書がある。



《申込方法》 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191408-0101 ビジネスモデルの基本とIoTとSDGsへの対応			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

■開催にあたって■

IoT(モノのインターネット)やSDGs(持続可能な開発目標)など企業を取り巻く環境の変化に対応すべくビジネスモデルを理解し革新し続ける能力の重要性が高まっています。本講義では、①ビジネスモデルのポイントと見える化技法、②IoTの基本と注目される「サブスクリプション・モデル」、③そして、SDGsに貢献するビジネスモデルの構築アプローチについて検討します。

1. ビジネスモデルの基本を理解する

(1) ビジネスモデルの重要性と定義

(2) ビジネスモデルの見える化

- ・ビジネスモデルの見える化の主なフレームワーク(BMマッピング、BMキャンバス他)
- ・ビジネスモデル・マッピング法(BM-Treeで大局を掴み、BM-Mapで見える化し、BM-DBでパフォーマンスを評価する)

(3) ビジネスモデルのリファレンスを増やす

- ・ビジネスモデルのパターンを知る(プラットフォーム、シェア、フリー、ロングテール等)

2. IoT(モノのインターネット)の理解とビジネスモデル

(1) IoTの基本を理解する

- ・IoT関連概念・用語の整理
- ・IoTを活かしたビジネスモデルのパターンを知る

(2) 注目の「サブスクリプション・モデル」の理解と活用

3. SDGsを組み入れたビジネスモデルと戦略の構築を考える

(1) SDGs対応戦略のアプローチとビジネスモデル

- ・UNGCの「SDG Compass」の概要他

(2) SDGs目標の選択と集中

- ・マテリアリティの特定プロセス

(3) SDGsを組み込んだ価値創造ストーリーの見える化とビジネスモデル

- ・アウトカム(成果)/インパクトとして「社会価値・環境価値」を捉えることの重要性
- ・推奨するフレームワークの構造と特徴

(4) 共通価値が創造されるCSVの3つの領域とビジネスモデル

- ・製品/サービスの開発
- ・バリューチェーン/サプライチェーンの改善・改革
- ・地域エコシステムの構築

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで2種類のセミナーをご案内しております。